

かじや知宏 議員報告



〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈年齢〉45歳 〈出身地〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り 〈血液型〉O型
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈市役所〉〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

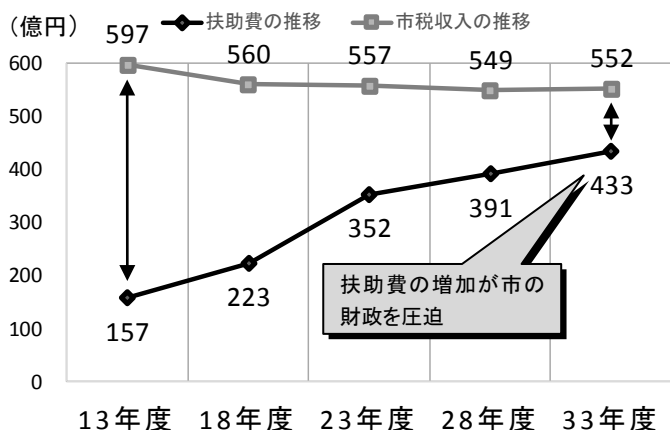
かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

(1) 構造的な課題と財政の健全性の維持について

税金の無駄遣いをストップし、借金を増やさない市政を

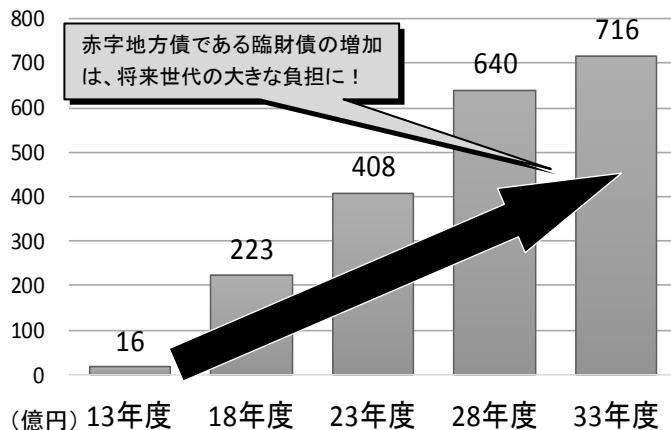
- 高齢化の進展により、市税収入の伸びが期待できない一方、扶助費（福祉関連経費）は増加
- 赤字地方債である臨時財政対策債の残高は、近年大きく増加。今後もこの傾向は続く見込み
- 厳しい財政状況の中、今後も様々な課題に対応するには財政規律の確保が不可欠
- 将来世代への負担の先送りとなる赤字地方債については、発行の抑制が必要

市税収入と扶助費の推移



※「枚方市長期財政の見通し（平成26年2月）」より

臨時財政対策債（赤字地方債）残高の推移



＜次のページに続く＞

税金の流れの透明化 **ムダの排除** **既得権の見直し**

市民の手に税金と政治を取り戻します!!

今回の議員報告は、3月議会で私が行った代表質問の項目を取り上げ、その要旨や私の考え方について掲載しています。なお、各質問の詳細については「かじや知宏のホームページ」に掲載していますのでご覧ください。

この議員報告は、市政調査の目的で発行しています。枚方市政に関するご意見・ご提言・ご感想がございましたら、お気軽にお寄せください。皆さまから頂戴したご意見等は、今後の議員活動に生かしていきます。



厳しい財政状況が見込まれる中、将来世代への負担軽減を 赤字地方債の発行には慎重な判断が必要

今後、市税収入が大きく増加することが期待できず、扶助費の増加も避けられない状況です。このような厳しい財政状況において、今後も市を取り巻く課題に柔軟に対応していくためには、財政規律の確保が不可欠です。特に将来世代への負担の先送りとなる地方債、中でも近年増大している臨時財政対策債の発行には慎重な判断が必要です。しかし、枚方市では、平成 25 年度末の地方債残高見込み額約 970 億円の半分を超える約 518 億円が臨財債となっており、今後も年々増加していくと予測されています。

臨財債は、国から地方自治体に交付する地方交付税の財源不足を、自治体の借金として肩代わりさせるものです。臨時の制度でしたが現在は恒常化して

おり、巨額の国債残高を抱える国の財政状況を考えて、今後この制度がどのように継続されていくのか、非常に不透明な状況です。市の責任と判断で発行している以上、今後、その増加が市の財政を圧迫する事態も十分想定されます。

道路や公共施設などのインフラ整備に充てる他の地方債は、施設が市民の資産として数十年活用され、将来世代も一定恩恵を受けますが、臨財債は毎年度の財源不足を補うための借金であり、将来世代への負担の先送りでしかありません。

こうした状況を踏まえ、一部の先進自治体のように臨財債の発行を抑制し、財政規律を維持していくよう市に提言しました。

(2) 待機児童の解消について

小規模保育事業や認定こども園など新たな取り組みを 待機児童の解消は、枚方市が「子どもを産み、育て、教育を受けさせたい」と、多くの人に感じてもらえることを目指すための重要な政策課題です。しかし、平成 27 年度から保育所の入所要件が緩和されることで、保育需要が今まで以上に拡大することが予想され、公立保育所の民営化による定員増など従来からの取り組みだけでは、待機児童の解消が困難になると考えられます。今後、しっかりと需要予測を行った上で、小規模保育事業や幼保連携型認定こども園の実施など、これまで市が実施していなかった新しい取り組みについても、積極的に進めるよう提言しました。

(3) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入について

民間のノウハウを活かして市民サービスの向上を 公の施設の管理・運営を民間事業者に任せる「指定管理者制度」の導入拡大、とりわけ図書館への導入については、これまで私からも提言してきたことであり、今回の生涯学習施設と図書館の複合施設への制度導入に向けての検討は一定評価できるものです。しかし、施設の管理面からの効率性やコストの議論だけでは不十分です。そこから一歩進んで、施設のサービス面において民間のノウハウをどう活かしていくのかの議論が必要です。今後、明らかに市民サービスが向上したと実感でき、利用者数の増加に繋がるような施設を目指して、制度導入の検討を進めるよう提言しました。

(4) 施設白書の作成について

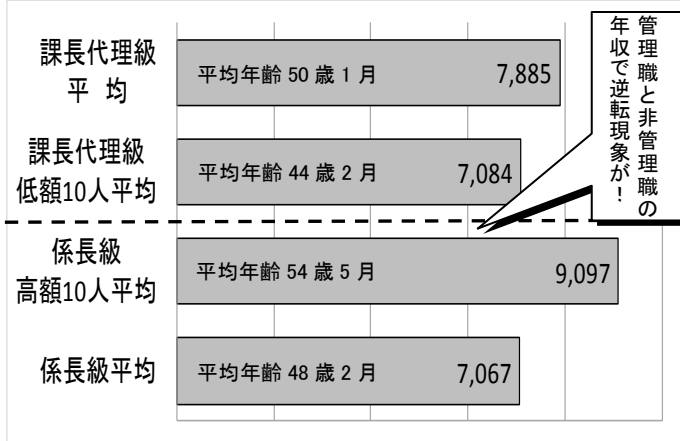
労働組合から事務所使用料の徴収を 職員会館における労働組合事務所の使用料徴収について、25 年度は予算に計上していたにも関わらず徴収されませんでした。今年度は必ず適正に徴収するよう提言し、予算計上及び執行を含め適正に運用していくことを確認しました。

(5)職員定数基本方針の策定について

民間とのバランスを考慮した給与制度に

- 年功序列の給与制度により、非管理職の年収が管理職の年収を大きく上回る逆転現象が発生
- 高年齢者の雇用確保の義務化に伴い、職務・職責に応じた人事・給与制度への改革が急務
- 市の技能労務職員の給与は、民間類似職種の1.52～2.17倍
- 業務の民間委託拡大や技能労務職員の給与制度の見直しなど、技能労務職場の改革が必要

課長代理級(管理職)と係長級職員の年収比較

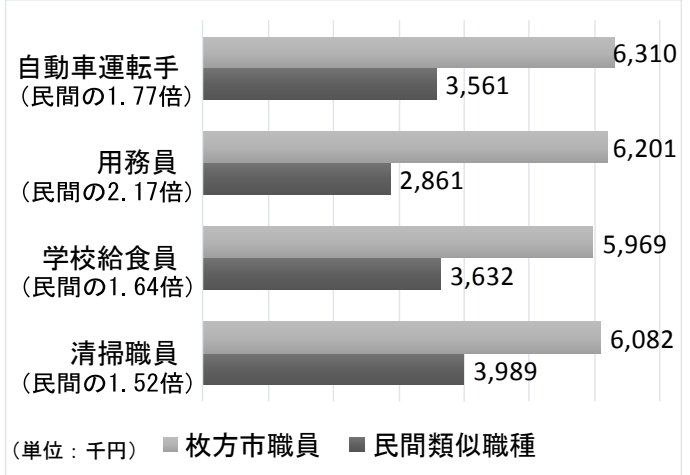


※平成24年度の金額

※係長級は時間外勤務手当を含む

※課長代理級は管理職であり、時間外勤務手当は支給対象外

技能労務職員と民間類似職種の給与比較



※「枚方市人事行政の運営等の状況の公表(平成24年度)」より



業務の民間委託拡大など技能労務職場の改革を 職務・職責に応じたメリハリのある人事・給与制度に

職員の雇用のあり方については、年金支給年齢の引き上げに伴い、高年齢者の雇用確保措置の義務化が求められており、今後、定年延長についても課題となってきます。しかし、民間が厳しい中、市が現状のまま定年を延長することは、市民の理解が得られません。まず、高年齢者職員の給与抑制や職務・職責に応じたメリハリのある人事・給与制度への改革を実施した上で、総人件費を抑制するなど民間と

の均衡を考慮した制度にするよう提言しました。

また、技能労務職員の給与については、民間類似職種と比べ1.52～2.17倍の格差があります。一部職員には新しい給与制度が導入されましたが、まだ民間との格差は是正されていません。今後、業務の民間委託の拡大をはじめ、職務・職責に応じた制度の導入など、業務の効率化の観点から、技能労務職場のあり方をさらに精査していくよう確認しました。

(6)市民参画と協働のまちづくりの推進について

校区コミュニティ協議会の民主的運営や政治的中立の確保を 市が地域の窓口として位置付けている校区コミュニティ協議会については、一部で「会長が特定の政治家の後援団体に多額の献金を行っている」「組織を政治的に利用している」「組織を私物化している」などの問題が報告されています。市が地域の窓口として位置付け補助金を交付するのであれば、民主的な運営や政治的な中立性を担保するよう提言しました。

(7)枚方市駅周辺再整備ビジョンについて



公有地の有効利用を図り、魅力と賑わいのあるまちに 総合文化施設だけでなく市駅周辺全体の具体的な計画を

現在、市庁舎は数か所に分散しており、市民サービスが極めて低下しています。4月に中核市となり業務も拡大しましたが、手狭となった庁舎を大きくするにも、現在の老朽化した庁舎では増築することもできず、建替えの検討が必要となってきます。また、この市駅周辺地域を魅力と賑わいのあるまちとするためには、民間活力の積極的な導入が欠かせませんが、そのためには市が民間の心を掴む魅力的な

計画を早急に示すことが不可欠です。

例えば、分散している庁舎機能を集約するとともに、官公庁団地において国や府の施設との合築を図ることにより、空いた公有地の土地利用を民間事業者任せるといったような計画を、早期に具体化する必要があります。短期的な視点で総合文化施設の整備だけを先行させるのではなく、戦略的な視点を持ってビジョン全体を進めるよう提言しました。

＝代表質問では以下の項目についても質問・提言を行いました＝

- ◆学校施設整備計画の策定について ◆新学校給食共同調理場の整備について ◆美術館の開館に向けた取り組みについて
- ◆総合文化施設整備事業について ◆下水道浸水被害軽減総合計画の策定について ◆減災対策の考え方について
- ◆市立ひらかた病院について ◆公務員倫理に関する研修の充実について ◆ごみ処理施設整備基本構想の策定について など

※質問内容の詳細につきましては、かじや知宏のホームページに掲載しています

市政報告会 政治が身近になる中身の濃い2時間 枚方の未来について語り合いましょう

菅原生涯学習市民センター：5/27（火）19時～21時

（JR・長尾駅から南西に400m、枚方市長尾元町1-35-1）

サンプラザ生涯学習市民センター：5/28（水）19時～21時

（京阪・枚方市駅東口直結、ひらかたサンプラザ3号館5階）

牧野生涯学習市民センター：5/30（金）19時～21時

（京阪・牧野駅から東に300m、枚方市宇山町4-5）



※座談会形式の気軽な報告会です。参加費無料。時間途中からの参加も大歓迎。参加をご希望される方は、会場等の準備の都合がございますので、お手数ですが事前にメールまたは電話にてお申し込みをお願いします。

活動の詳細についてはホームページをご覧ください

かじや知宏

で 検索



携帯電話からブログ
をご覧になれます



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開設しています。

駅前報告を行っています

～500回継続中～

平成18年7月に開始した駅前での報告活動も、トータルで500回を超えました。もし駅前で見かけられましたら、お気軽にお声掛けください。